



圃場に水が溜まりっぱなしになっていませんか？ 間断かん水で根の活力を維持しましょう！ 斑点米カメムシ類・いもち病の発生多い！防除を徹底！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月20日現在の生育は、平年値と比べ、草丈はやや長く、茎数、葉数は平年並み、葉色はやや濃くなっています。

出穂期は平年並み～やや早いと予想されます。

平坦部「雪若丸」の生育（7月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	66.7 cm	63.9 cm	104 やや長い
茎数	636 本/m ²	645 本/m ²	99 平年並み
葉数	12.0 枚	11.8 枚	0.2 平年並み
葉色 (SPAD)	42.0	40.9	1.1 やや濃い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（7月20日現在、農業総合研究センター調べ）

場所	予想出穂期	平年出穂期	平年差
山形市みのりが丘	8月3日	8月3日	0日
鶴岡市藤島	7月30日	8月2日	-3日

※過去7か年（H28～R4）の平均値

（1）間断かん水で根の活力維持！出穂直前から穂揃期までは湛水管理！

出穂までの水管理は間断かん水を基本とします。土壌を酸化的に保ち、根に水分と酸素を供給しながら、根の活力維持に努めましょう。

出穂・開花期は、水を最も必要とする「花水」の時期です。出穂直前から穂揃期までは2～5cmの水深を保つように管理します。

（2）斑点米カメムシ類及びいもち病発生多い！対策を万全に！

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とし、地域で一斉に防除すると効果的です。

7月以降、いもち病感染好適日が多く、注意報第1号が7月20日に県病虫害防除所から発表されました。穂孕後期と穂揃期の2回防除を基本に、防除対策をしっかりと行いましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！